

第17回男子ジュニアアジア選手権  
戦況連絡票

開催日	7月22日（金）				
試合	準決勝				
チーム名		スコア			チーム名
日本		28	16 前半	12	クウェート
			12 後半	14	

No.	名前	得点	戦況
1	今井 寛人	0	<p>日本はDFで数的優位を作ること、そしてサイドまでは必ず守り、外角からのシュートはGKで勝負することを確認して試合に臨む。</p> <p>スタートは、羽瀨・北川のDFコンビを中心にコートプレーヤー全員が身体を張って、クウェートの攻撃に対応。GK大山も安定したキーピングを見せ、簡単に失点させない素晴らしいパフォーマンスを披露。そこから荒瀨・大竹が走り、スタートダッシュに成功。開始10分で7-3とする。その後も相手のポストに押し込まれるも、途中出場の高橋による3連打もあり、22分には15-8として、この試合最大の7点リード。その後は連打を浴びて、16-12で前半を折り返す。</p> <p>後半、ジリジリと点差を縮めるクウェート。日本も必死のDFを見せるも、点差はジリジリと詰まり、後半20分には21-19の2点差に詰め寄られる。日本は厳しい時間帯にOFの核となる泉本・藤坂が執念でシュートをねじ込む。対するクウェートも粘りを見せて、NO.23が切れ味鋭いミドルで応戦。最後の1分を切って日本のリードは1点となる。</p> <p>クウェートはボール奪取を狙い、立体的なDFを展開。日本はボールを回し、最後はこの試合終始好調の荒瀨が中央からねじ込みタイムアップ。28-26で勝利し、バーレーンの待つ決勝へ駒を進めた。</p> <p>ベストプレーヤーには、この日最多得点の荒瀨が選ばれている。</p>
2	大竹 徹大	2	
3	高橋 颯汰	3	
4	藤坂 尚輝	4	
5	泉本 心	4	
7	荒瀨 廉	8	
8	羽瀨 晴一郎	0	
9	大浦 和真	0	
10	中島 遼也	5	
12	大山 翔伍	0	
13	細田 啓輔	1	
15	北川 雄聖	0	
19	伊禮 颯雅	0	
20	新井 駿佑	1	
21	井上 明	0	
24	近藤 アレキサンダー偉一郎	0	